

MONTHLY TOPICS

2018年
11月号

日影工務店

〒930-2233
富山市布目1131
TEL:(050)1404-9376
FAX:(076)471-8896
MOBILE:090-4682-6228
MAIL:contact@hikage-koumuten.com
URL: http://hikage-koumuten.net



富山市*I様邸
現場レポート



床板の塗装を塗っていますよ♪
もちろん、化学物質を含まない
塗料材を使用していますよ(^o^)
肌に触れると心地よく、あたたかみがある
雰囲気仕上がりになりますよ☆



おめでとう! つばめの接骨院
『優秀賞』



2018/10/25*富山新聞にて掲載

日影工務店からのお知らせ

参加費無料・予約制

家づくりで失敗したくない方、必見

大迫力!
実大耐震実験

最新省エネ
住宅セミナー

11/17(Sat)・12/1(Sat)

10:00~12:00

キッズスペースもあり
お子様連れでもゆっくり
見学をしていただけますよ!!

詳しくはHPをご覧ください



消費税率



8%



10%

2019年10月から
消費税10%に!!

家を建てるには

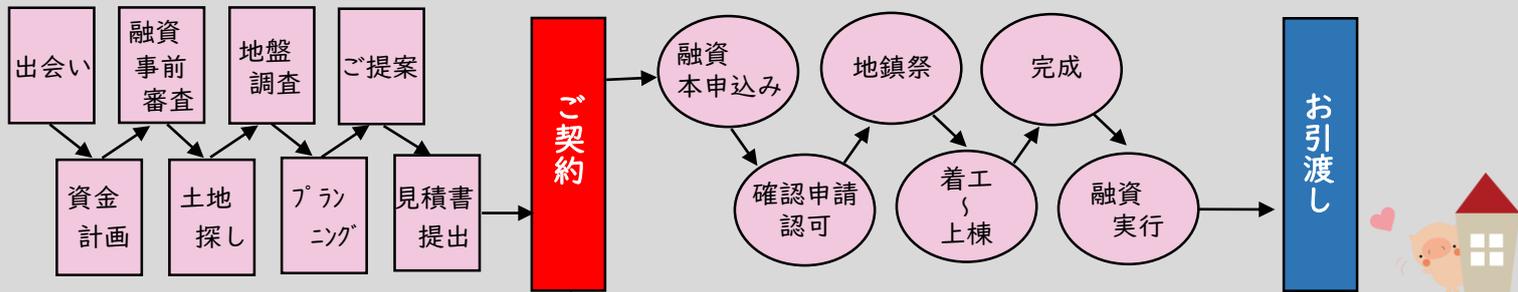
どのくらいの
日数がかかるのだろう...



現行の8%から10%に引き上げられることで
私たちの暮らしにどんな影響があるのか...。
とっても気になりますね...。

一体どのタイミングで買ったらいいのでしょうか??

建築スケジュールの流れと増税のタイムリミット



①「請負契約」のタイムリミット

(2019年3月31日までに契約したものであれば引き渡し時期に関わらず消費税は8%のまま据え置かれます)

2019年
3月31日まで

(10月1日以降の引き渡しでも消費税は8%となります)

②「引き渡し」のタイムリミット

(住宅の引き渡しが2019年9月30日までに完了すれば消費税は8%となります)

(10月1日以降の引き渡しの場合は10%となります)

請負契約を結ぶまでもやることはたくさんあります。
土地を探したり、ローンの借入れ先を考えたり、住宅のプランニングなど...。
消費税8%での購入を考えている方は日影工務店にご相談下さいね。



2019年
9月30日まで



ポリ袋で簡易長靴



備えのない時の降り出した雨やぬかるみには困ってしまいますよね。

そんな時ポリ袋を靴下の上に履きその上から靴を履きます。袋の上の方はテープで止めます。靴がぬれても足はぬれないので快適に保てます。

食器をカバーして使う



断水の時は、できるだけ洗い物を出さない工夫をしましょう。

食器を使う前にポリ袋をかけて使い、食後ポリ袋をくるりと裏返して袋の口を結んで廃棄します。袋の口を結ぶことで臭いも緩和できます。

ペットボトルで簡易シャワー



ペットボトルを使って簡易シャワーを作ることが出来ます。

ペットボトルのフタに画びょうなどで穴をあけます。ペットボトルに水を入れ逆さにすれば頭などを洗う時に役立ちます。

Life with comfortable 快適空間のある暮らし

心も体も癒される 「畳」のある暮らしをはじめよう

日本の暮らしとともにある「畳」。近頃はフローリングの住まいが主流になっていますが、デザイン性の高い畳が登場したり、海外での畳人気が高まったりと復活の兆しを見せています。また、“和室”にこだわらず、リビングの一部を畳スペースにしたり、インテリアとして楽しむ人も増えてきています。畳の特性や効果を知り、日々の暮らしに取り入れてみませんか？

お部屋に畳を

★インテリアのポイント★

畳は緑の色や模様を変えるだけでも雰囲気が変わります。また、和室がなくても置き畳などを利用して、和の雰囲気を楽しむことができます。

- 縁なし畳を使うことで、落ち着いた雰囲気のと和室がぐっとモダンな印象に。
- カー畳を組み合わせることで、个性的でオシャレな空間に仕上がります。
- フローリングには、ラグやカーペット感覚で“置き畳”を置くだけでお部屋のイメージがガラリと変わります。子供部屋にもおすすめ。



い草を使った畳にはこんな効果も

夏涼しく、冬暖かい

調湿性や断熱性に優れているので、一年を通じて快適に過ごせます。

香りに癒される

い草の独特な香りにはアロマセラピー効果があり、ストレスを和らげてくれます。

足腰への負担を軽減

適度な弾力性があり、転んでもクッション性をしにくいことから、お子さんや高齢者のいるご家庭にもおすすめ。

空気を浄化

シックハウスの原因となるホルムアルデヒドを吸着して、空気をきれいにしてくれます。二酸化窒素を除去する効果も。

あらためて学ぼう!! しちごさん3の由来と意味

着物や袴を着たり、お参りに行ったり写真を撮ったり…。皆さんがよく知っている七五三。でも…なぜ3歳・5歳・7歳の時にお祝いするのでしょうか？七五三を行う前に、どうしてこのような行事が生まれたのか、七五三の由来を是非知っておきましょう。



昔は医療も発達しておらず、赤ちゃんが亡くなることも多かったため、子どもの健やかな成長に対する強い思いがありました。そのため、七五三のお祝いは今まで無事に成長したことへの感謝と幼児から少年少女期への節目にこれからの将来と長寿を願う意味を持っていたと言われていました。

今でこそ七五三という一つの行事になっていますが、元々は公家や武家で行われていた別々の儀式でした。

3歳

かみおきのぎ
髪置の儀

平安時代には子どもは3歳まで髪の毛を剃る慣習があり、この日を境にそれまで剃って短いままだった子どもの髪を伸ばし始める儀式。

5歳

はかまぎのぎ
袴着の儀

大人への第一歩として男児が初めて袴を身につける儀式。古くは平安時代の貴族の間で、その後武家から庶民へと伝わりました。男女の儀式だったものが江戸時代以降男児のみの風習になりました。

7歳

おびとぎのぎ
帯解の儀

それまで紐付きの着物を着ていた女兒が、大人と同じ本仕立ての着物を身につけ、幅広の丸帯を結ぶ儀式。男女ともに9歳で行われていましたが、江戸時代から男児は5歳で、女兒は7歳となりました。

このように年齢に応じて少しずつ子どもから大人へ成長することを認め祝う儀式だったのですね。子どもの成長を祈る気持ちはいつの時代も変わりません。七五三の由来やお祝いの意味を理解して素敵な七五三をお迎えくださいね！